和歌山印刷所ニュースレター 第17号

風流印字

●発行
（株）和歌山印刷所
〒640-8412 和歌山市狐島609-9
TEL.073−451−4111
FAX.073−452−2631

●発行年月日
2019年7月1日

この時期は暑くて納品も大変、雨で商品が濡れないようにするのも大変です…
こんにちは！和歌山印刷所、通称「わいん」です。
皆さんは棄権せずに投票に行っていますか?
今回はこの国の将来にかかわってくる「選挙」についての特集です。

■亥年の選挙

今年は、4月に統一地方選挙があり、今月は参議院選挙が開催される、いわば選挙イヤーです。この選挙イヤーは、「亥年選挙（いどしせんきょ）」と呼ばれることもあります。
どういうことかと言いますと、統一地方選挙は4年に一度、参議院選挙は3年に一度行なわれているため、4と3の最小公倍数である12年に一度、つまり亥年に2つの選挙が同時に行なわれるというのが由来です。

■選挙と印刷

選挙と印刷は無関係ではありません。候補者の選挙活動のためにはポスターやチラシ、のぼり等が必要になりますから、それらを提供するのも印刷会社の仕事です。
他にも弊社では「必勝選挙用品」という特化した通販サイトにおいて、『チャリンジャー』というオリジナル開発商品を取り扱っています。自転車の荷台に拡声器を取り付けられるようにする器材で、専用ののぼりも取り付けることができる設計ですので、小回りがきく上に注目度も抜群です。詳しい仕様が気になる方は弊社ホームページをご覧ください。

機動力溢れる選挙活動に最適
抜群の注目度で、あなたの
チャレンジ精神を訴求します

街頭演説用自転車拡声器
セッティングマシーン
チャリンジャー

■投票用紙

また、選挙で使用される投票用紙には大きな特徴があります。「用紙」と言っていますが、実はポリプロピレンを原料として作られたフィルムで、以前、裏面の「印刷七転び八起き」で紹介した「ユポ」もその一種です。
フィルムですが鉛筆できちんと書くことができ、しかも弾性のおかげで折りたたんでも投票箱の中で自動的に開いていくので開票時に手間がかからない優れもの。もちろんフィルムなので破れることもありません。

■7月の参議院選挙

今回は、7月4日（木）に公示、7月21日（日）に投開票が行なわれます。
投票用紙のことが気になった方はもちろん、ご存知だった方も、当日、あるいは期日前投票を利用して、清き一票を投じに行きましょう！

わいわい探検隊！

総務次長なおやんが会社のインサイドをレポートします！

『職場体験パート2』

昨年に引き続き今年も中学生の職場体験を受け入れました。6月4日（火）～6月6日（木）の日程で貴志中学校2年の男子生徒2名です。
今年は1日目の午前に出力部・午後は制作部、2日目と3日目は製品部で職場体験を行いました。印刷前と印刷後の工程を体験してもらうことで、印刷物ができるまでの流れを理解してもらえたと思います。
職場体験は数十年前から継続的に行なっています。
来てくれた生徒が少しでも何かを感じていただけると嬉しく思います。

風流印字（ふうりゅういんじ）：【風流韻事】の造語。興味深い記事を載せた印刷物の意。

印刷七転び八起き

ちょいとここらで小噺をひとつ

題目 色上質紙

弥七はチラシを入稿するため、喜八に相談をしていた。

弥七「…ってワケで、チラシ全面に色を付ければもっと良くなるんじゃねぇかと思ってよ」

喜八「そんなまどろっこしいことしねぇでも、色上質紙を使えばいいんじゃねぇか？」

弥七「やっぱりそういうのがあるのか。いつものパターンだと、ちょっとお高いんだろ？」

喜八「おいおい、色眼鏡で見ねぇでくれよ。上質紙に染料が入ってるだけだからそれほど高くはならねぇさ。ほらっ、これが見本帳だ」

弥七「どれどれ…結構種類が多いんだな。この厚口とかって紙の厚さのことかい？」

喜八「ああ、基本的に紙の厚さは数字で表すんだが、色上質紙は日本語なんだよ。チラシなら中厚口ぐらいでいいんじゃねぇかな」

弥七「へぇ…人生いろいろ、色上質紙もいろいろか。なぁ喜八、この白色って…単に上質紙のことじゃねぇのか？」

喜八「いや、上質紙と比べてみな。ちょっと白っぽいだろ？ 白に染めてんのさ」

弥七「言われて見りゃあ…そうだな。言葉にしにくいが、白色だな」

喜八「きれいな白なんで、高級感を出したいときとかに使ったりするな」

弥七「ちゃんとワケあってのものか。まぁ今回は、別の色にするがね」

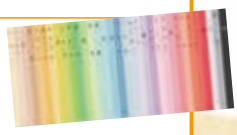
喜八「…よし！ 紙が決まれば、後は見積もりだな」

弥七「いつも言ってるが、お安くしといてくれよな！」

喜八「わかってるよ。色上質紙と一緒で『すでに色をつけてる』からさ」

どうもお後がよろしいようで。

●色上質紙について



上質紙に色が入ったものが色上質ですが、厳密に言うと模造紙の部類に入ります。
33色と豊富な色数と７種類の厚みがあり、本文中にも語られていますが、紙の厚さを表す際は数字を使わず、「薄口」「中厚口」「厚口」「特厚口」というような呼び方を使います。

走れ、営業マン!!

思いやりの気持ち
若林　保宏（管理本部長：56歳）です！

前回の走れ営業マンに書かせてもらったのですが、現在は営業と管理全般を兼務しております。元々は営業だけでしたが、管理業務を兼務するようになり、売る立場と買う立場の互いの気持ちが少し判るようになったような気がします。モノを売るときに相手の気持ちになり営業をするようになってから、お客様からの相談ごと等が増えたような気がします。これからも様々な場面で相手の気持ちになり、仕事を続けていきたいと思います。

ホット派とクール派
田中　宏和（営業部長：59歳）です！

夏になると冷たい飲料を飲んでしまいますが、そのせいか秋になると腹痛に襲われる事を何度か経験しました。どうやら体内を冷やし過ぎると消化器官等の内臓は十分機能が発揮出来ず負担が掛かるようです。ところで私は真冬でも温かい水・お茶では咽の渇きが収まらないクール派ですが、晩酌だけは夏でも焼酎のお湯割りです。これってホット派なのかクール派なのかよくわかりません（笑）
今年も暑い夏になりそうですが、出来るだけ常温飲料で乗り切ろうと思います！

和歌山印刷所ニュースレター・アンケートのコーナー

今回の記事で印象に残った記事などがありましたら下記のチェックボックスにチェックを入れ、感想をご記入の上で FAX を送っていただけるとクオカード（500 円分）を抽選でプレゼントいたします。（FAX/073-452-2631）

□特集「選挙」　□わいわい探検隊　□印刷七転び八起き　□走れ、営業マン!!

ご意見・ご感想等（御社名 /　　御氏名 /　　）

編集後記

「亥年選挙」という言葉を初めて聞いたのは大学に入ったばかりの頃です。当時、法学部の講義で聞いたことを思い出しながら、今回の特集を書きました。大学卒業後は使うこともなくなる知識とばかり思っていましたが、どこで役立つかわからないものです。特に文系の学部では、大学で学んだことは卒業後の役に立たないと言われがちですが、あまり積極的に役立てようとしていないために、そう思われてしまっているのかもしれません。
知識も使わなければ錆びつくばかりですから、油を差す意味でも、折に触れて使っていきたいと思います。

（編集長：椿原健太）